



シアノバクテリアによる環境浄化

シアノバクテリア等を用いたグリーンバイオテクノロジーの研究

技術分野分類 6103：応用生物化学

技術キーワード H：微生物利用学

産業分類 A-01：農業

内 容	概要	我々の研究室では、シアノバクテリアや藻類の環境ストレス耐性について、分子レベルでの解明を行っている。今後、地球人口の急激な増加により、世界レベルでの食糧不足が懸念されているので、生物を利用して耕作が難しい地域を環境浄化することで食糧不足の問題に貢献したい。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	従来シアノバクテリアが緑肥利用されている耕地条件は、限定的であり、さらなる展開が望まれている。本研究は、死海より単離された耐塩性シアノバクテリア <i>Aphanothecce halophytica</i> を用いて、高等植物などに応用可能な分子基盤の開発を目指す。
	本技術の有用性	シアノバクテリアや藻類の環境ストレス耐性の基礎研究を通じて、塩害地においても生育可能な作物の作出や、塩害地におけるグリーンバイオ肥料の開発を目指す。
関連情報 (図・表・写真等)		<div style="text-align: center;"> <p>The diagram illustrates the research flow. At the top, three boxes represent molecular mechanisms: 'Salt stress resistance mechanism', 'Nitrogen deficiency stress resistance mechanism', and 'Nitrogen fixation mechanism'. Arrows from these boxes point down to a central box labeled 'Salt-tolerant plant cultivation' and 'Green biofertilizer development'. Below this central box is another box labeled 'Contribution to environmental purification and food shortage'. Two red arrows originate from the bottom of the central box and point towards the text below.</p> </div>
適用可能製品		塩耐性植物の作出、グリーンバイオ肥料の開発
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	景山 伯春 (かげやま はくと) 名城大学 理工学部 教養教育 化学教室 教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036 / 052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2012年10月22日